

第2回 ステークホルダー・ダイアログの開催報告

討議テーマ **POLA**

女性を応援する企業で ありつつけるために

いつまでも「美しくありたい」と願う全ての女性たちを、お客さま・ビジネスパートナー・社会とのアライアンスをとおして、より深く、より広く、より強くサポートするのがポーラの女性応援(AAA宣言)活動です。

第2回のステークホルダー・ダイアログでは、ポーラの女性応援の取り組みが、社会や消費者の皆さまにどのように映り、どのような成果を上げてきたのか、昨年の活動を評価いただくとともに、消費者の視点で欠けているところはないかなど、さらなる飛躍に向けて有識者の皆さまのご意見をうかがいました。

AAA宣言

AAA宣言：アンチエイジングアライアンス宣言の略。今の自分に自信をもち、明日の自分をもっと好きになること。そのために小さくても確かな情熱を積み重ねていくことこそ、真のアンチエイジングだと考えています。芸術、技術、知性、感性、そして人。本物にどれだけ触れるかで人は心も体もより美しく、豊かになります。「いつも、いつまでも美しくありたい」と願う全ての女性たちのために、この宣言に共感し、共鳴してくれるメディア、企業、地域社会をはじめとする様々な分野とのアライアンス(同盟)を組み、すばらしい本物たちとの出会いを創造していきます。

実施日時、実施場所及び参加者

日時：2011年11月9日(水)
15:00~17:00

会場：ポーラ 五反田第二ビル
地下第三会議室

参加者：

● ステークホルダー代表 (有識者)

矢野 貴久子氏 株式会社カフェグローブ・ドットコム
代表取締役社長

福沢 恵子氏 ジャーナリスト
財団法人女性労働協会
専務理事

渥美 由喜氏 内閣府男女共同参画会議
専門委員

● ポーラ参加者

小西 尚子 常務取締役

及川 美紀 商品企画部長

末吉 誓子 販売企画部長

山本 史織 人事部

● 司会

小澤 ひろこ氏 新日本有限責任監査法人

※実施当時の肩書きとさせていただきます。

ご参加いただいた
ステークホルダー
代表の皆さま



矢野 貴久子 氏
株式会社カフェグループ・ドットコム
代表取締役社長



福沢 恵子 氏
ジャーナリスト
財団法人女性労働協会 専務理事



渥美 由喜 氏
内閣府男女共同参画会議専門委員

討議した課題と主な回答

第2回のステークホルダー・ダイアログでは、以下の3つの課題について討議を重ねました。

課題 AAA宣言のあるべき姿について

- 1 AAA宣言には、女性の生き方を応援するメッセージが込められていますが、より広く浸透させるために、もっと強く打ち出す必要があります。

ステークホルダーからのご意見・ご指摘

- ① 「AAA(アンチエイジングアライアンス)」の「Anti」は否定的な印象を与える可能性があります。年齢を重ねることを肯定する「Accept」の考え方が重要であり、「Accept」の考え方が含まれていることを打ち出していくべきです。(福沢氏)
- ② 昔は、年配の女性が積極的に社会に出ることが少なかったため、素敵に年を重ねた50～60代の女性像がイメージしにくい状況でした。年齢を重ねることに誇りを持ち、そうした生き方の「美しさ」をAAAのメッセージとして打ち出すことが重要です。(福沢氏)

ポーラの回答

- ① 確かに社内でも否定表現について賛否両論ありました。ご指摘いただくことで、AAAの本質が浮かび上がってきます。それを意図してあえて「Anti」とした経緯があります。真意はまさに「Accept」ですから、まだまだ打ち出し方が弱いと考えています。
- ② AAAを通じて、年齢にかかわらず生き活きた人生を美しく過ごしておられる人を紹介するなど、「生き方としての美しさ」をメッセージとして伝えます。

課題 AAA宣言について

- 2 どのような女性に、どのような支援が必要かなどの仕組みづくりを検討する必要があります。

ステークホルダーからのご意見・ご指摘

- ① AAA活動の対象となる女性の範囲を広げるのはどうでしょうか。例えば、以下のような様々な背景を持つ女性を「応援」してはいかがですか。
- 例) 競技時にメイクが必須ではないスポーツ選手の女性/力仕事などの男性が多い仕事に従事している女性/ジェンダーの問題が深刻な国で頑張っている女性など。(渥美氏・福沢氏)

ポーラの回答

- ① 誰に対して、どのように応援していくのか、明確にする必要があります。2年目に入り、もっとターゲットを明確にして、その方々にふさわしい支援のあり方を模索していきます。今後、様々な背景を持つ女性を対象ごとに取り組みを整理し、フェーズをつくりながら進めていきます。

課題 2 AAA宣言について

ステークホルダーからのご意見・ご指摘

- ② 女性が「応援されている」と実感できる取り組みが重要です。例えば、管理職に女性枠を設けるクォータ制度の導入や女性管理職のロールモデルを示すことなどが挙げられます。(矢野氏)



ポーラの回答

- ② 昨今、「生き方・働き方」の価値観が多様化している中、昇進・昇格だけでなく、自分らしく働き続けたという女性・男性が増えています。多様な価値観を持つ社員を応援するには、多様なロールモデルを示していく必要があります。社員が「応援されている」と実感する施策についても検討しているところです。

課題 3 AAA宣言の情報発信について

3 多様なメディアを使った情報発信による女性応援活動の展開が求められています。

ステークホルダーからのご意見・ご指摘

- ① 情報発信の軸を持ちつつ、様々な媒体を通じて情報発信するのはどうでしょうか。例えば、ソーシャルメディアや雑誌などを通じて情報発信し、最終的にはAAAのホームページに集約させるなどが考えられます。(矢野氏)



ポーラの回答

- ① 情報発信については、すでに新聞広告や雑誌で記事掲載を行うなど、女性支援につながる文化芸術活動、チャリティ活動、あるいは社内外のイベントやセミナーなどを通じて進めていますが、まだ十分ではありません。今後も多様なメディアを使った情報発信や女性応援活動に取り組みます。

- ② お客さまにとって身近な存在であるポーラの社員がAAAのコンセプトを紹介するのはどうでしょうか。
例) ビューティーアドバイザーや研究職などの専門家が美しさを保つ秘訣を発信・紹介する／AAAのコンセプトに合致した女性社員をアンバサダーとして紹介し、生き方や考え方、あるいは食生活など、美しくなる秘訣を発信する。(渥美氏・福沢氏)

- ② 社員自らがAAAを語ることにより、ポーラのダイバーシティ化人事制度、女性の登用、訪問販売現場における女性の活躍などを紹介してまいります。

ダイアログを終えて

ポーラの女性応援活動は、1937年に京都で最初のポーラレディが誕生した時に始まりました。ポーラは過去70年間で延べ数百万人の女性の就労機会を生み出し、その活動を支援する中でポーラ自身も大きく発展することができました。そして現在、女性の社会進出で生き方・働き方も多様となり、そのあり方も大きく変わりつつあります。女性応援活動も大きく変化し、その活動を単なる支援から、アライアンスを通じた活動へと深化させていこうと考えています。ステークホルダー・ダイアログから得られたご指摘について検討を加え、ポーラらしさを実感できる女性応援活動にしたいと思います。